

NetApp

Tech Community ONLINE vol.45

ネットアップ合同会社

2024/1/25



NetApp Tech Community ONLINE

- NetApp SE主催のオンラインセミナー

- 全国のお客様、パートナー様を対象に毎月開催します！
- データ管理を軸とした、最新技術情報、ユースケース、事例、検証結果など
 - DX, AI, ハイブリッド・マルチクラウド, コンテナ, セキュリティ, 災害対策, HCI, オールフラッシュ, Windows 10 VDI, etc

- Zoom Webinarを使ったオンラインセミナー

- PC, スマートフォンの様々なデバイスからお手軽にご参加が可能
- チャット、Q&Aツールの利用による双方向型のコミュニケーション
- オンデマンドであとから録画を確認することも可能

Zoom Webinarセッションの機能

Q&A

- ご質問がございましたら Q&Aをクリックし、ご質問内容を入力後に送信をクリックください
- ホストとパネリストが内容を確認してできる限りセッションの中で回答いたします
- チャット、挙手の機能は通常使用しません

Q&A

ようこそ 🙌
ホストとパネリストに気軽に質問してください

質問です。_

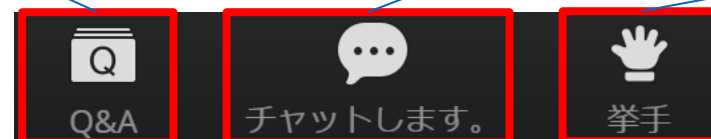
匿名で送信

キャンセル 送信

グループチャットをズームします。

宛先: すべてのパネリストおよび...

ここにメッセージを入力



本日のテーマ

NetApp Tech Community ONLINE Vol.45

SAPとOracleの新次元！NetAppで開く未来への扉：NetApp ONTAPでSAP/Oracleの運用効率とパフォーマンスを加速

SAPやOracleのようなデータベースシステムでは、データ量の増加に伴い、パフォーマンスの低下やデータベースの運用保守がより複雑になるといった課題を抱えています。

本セッションでは、NetApp ONTAPを用いてハイブリッドクラウド環境におけるSAPとOracleの運用を効率化し、パフォーマンスを向上させるための最新ソリューションをご紹介します。また、NetApp ONTAP環境にSAPやOracleを導入することの具体的なメリットについて、実際の導入事例を交えてご説明します。



スピーカー:

ネットアップ合同会社
APAC HQ SE 1
APACプリンシパルアーキテクト
中山 享



ネットアップ SE
高木



ネットアップ 営業
なかむら

SAPとOracleの新次元！ NetAppで開く未来への扉： NetApp ONTAPで SAP/Oracleの運用効率と パフォーマンスを加速



ネットアップ合同会社
APACプリンシパルアーキテクト
中山 享
2024年1月25日

アジェンダ

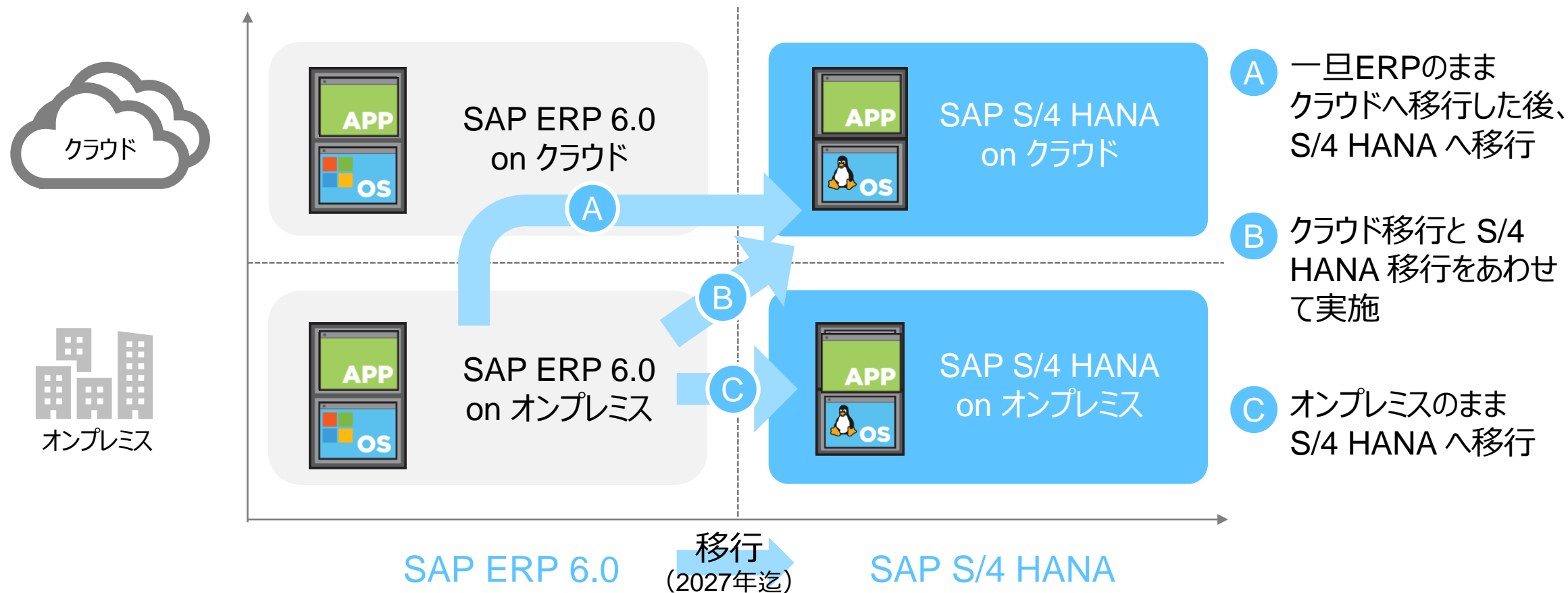
1. SAP環境におけるONTAPの導入メリット
2. Oracle環境におけるONTAPの導入メリット

SAP環境における ONTAPの導入メリット

SAP S/4 HANA への移行に向けたインフラ観点でのロードマップ

SAP S/4 HANA への移行にあたっては、他システム含めたクラウド化戦略やアドオン等を含めたアプリケーション移行の難度、周辺システムとの連携、TCO等を考慮して、オンプレミス又はクラウド上での S/4 HANA 移行に向けたロードマップ策定が必要です。

SAP S/4 HANA への移行に向けたロードマップ (3つの選択肢)



SAP 2027年問題への対応

SAP ERP は2027年末にサポートが終了するため、それまでに S/4 HANA への移行等、何らかの対応が必要とされています。SAP S/4 HANA では、DBMSに専用の SAP HANA を利用する必要があるなど、インフラ観点では大きな変更が必要になります。

SAP ERP のサポート提供期限 (2024年1月時点) (※1)

#	SAP ERP 製品 (EhP: Enhancement Package)	メインストリームサポート 提供期限	延長サポート 提供期限 (※2)
1	SAP ERP 6.0	2025/12/31	-
2	SAP ERP 6.0 EhP 1~5	2025/12/31	-
3	SAP ERP 6.0 EhP 6~8	2027/12/31	2030/12/31

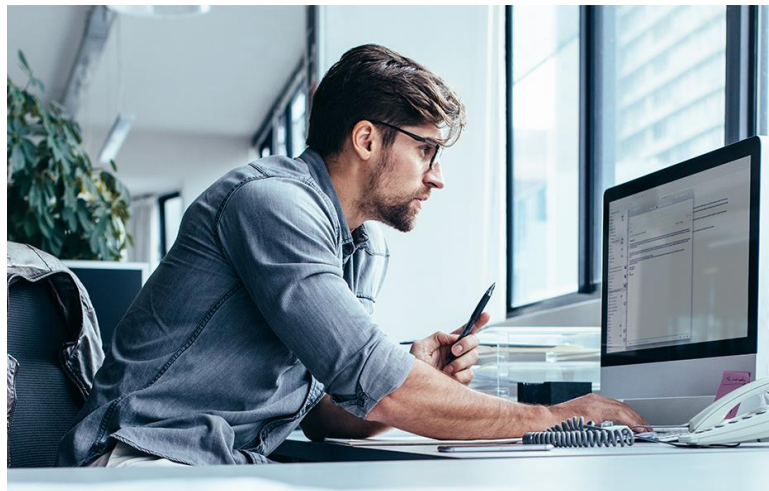
※1 : 当初2025年末としていたが、2020年2月に「2年延長」が発表された。

※2 : 2028年以降は S/4 HANA へ移行する前提で標準保守料金+2%の追加料金を支払うことで、2030年までサポートが可能。

SAP環境におけるONTAPの導入メリット



**オンプレミス/クラウド
を問わずデータの
利活用が可能**

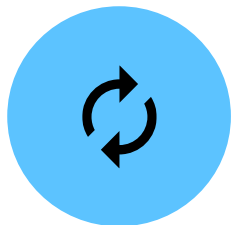


**SAPの導入/運用
フェーズを高速化**



**バックアップ/DRの
運用を簡易化**

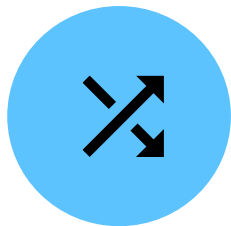
オンプレミス/クラウドを問わずデータの利活用が可能：ビジネス上の成果を最大限に発揮



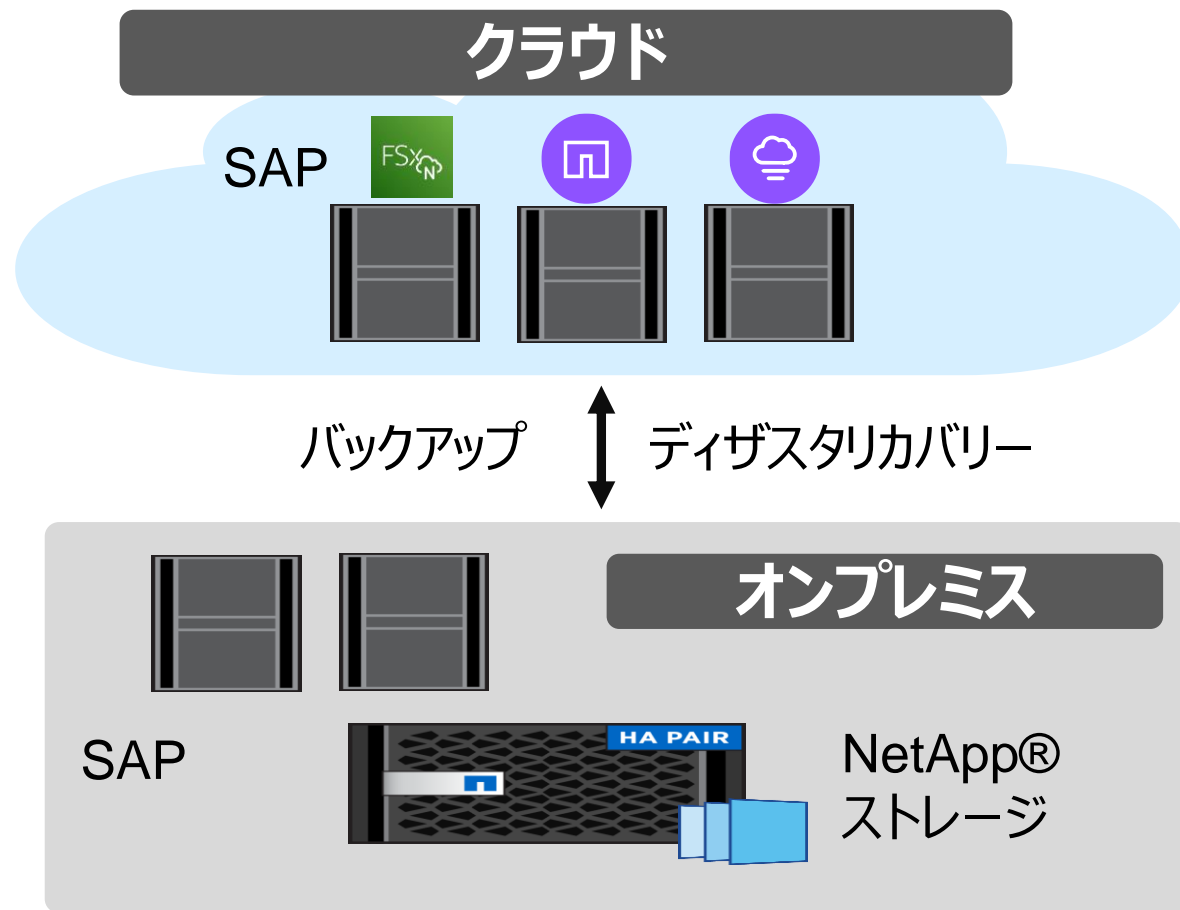
インフラの最新化により、オンプレミスおよびハイブリッドクラウドに柔軟性を生み出す



ワークロードと分析を高速化する
理想的なクラウド基盤を構築



オンプレミスおよびハイブリッドクラウドの区別なく最適な場所に
データとリソースを自由に移動



SAP HANA TDI 向けの認定を取得したNetApp のストレージシステム

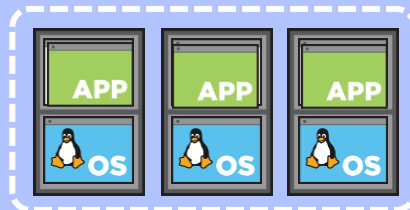
Business suite, warehouse, S/4HANA, BW/4HANA, C/4HANA

SAP HANA データベース

シングルホスト



マルチホスト



NFS

10/40/100 Gb イーサネット

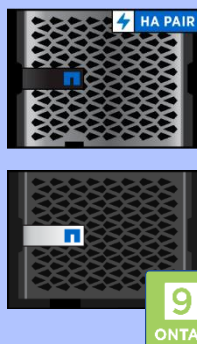


XFS

16/32 Gb ファイバーチャネル



NetApp
AFF / ASA / FAS



ASA / AFF: A220, A250,
A400, A700, A800, A900

FAS: 2720, 2750, 8300,
8700, 9000

Cシリーズ: C250, C400, C800

SAP® Certified
Hardware for SAP HANA®

SAP CERTIFIED AND SUPPORTED SAP HANA® HARDWARE DIRECTORY

Certified Appliances
 Certified Enterprise Storage
 Certified HCI Solutions
 Certified IaaS Platforms
 Supported Intel® Systems
 Supported Power® Systems

Filter by: Deployment Vendors CPU Architecture Memory Size More

Filtered by "NetApp Inc." and "Certified Enterprise Storage" clear

9 Solutions sorted by Latest Certification Export as PDF as of December 17, 2020

Solution	Type	Vendor	Storage Connector	TDI	Certified Solution
FAS & All Flash FAS	Enterprise Storage	NetApp Inc.	SAN - Fibre Channel		
FAS & All Flash FAS	Enterprise Storage	NetApp Inc.	NAS - Shared file system		
FAS & All Flash FAS	Enterprise Storage	NetApp Inc.	SAN - Fibre Channel		
FAS & All Flash FAS	Enterprise Storage	NetApp Inc.	NAS - Shared file system		
FAS & All Flash FAS systems	Enterprise Storage	NetApp Inc.	NAS - Shared file system		
FAS & All Flash FAS systems	Enterprise Storage	NetApp Inc.	SAN - Fibre Channel		

[Privacy](#)
[Terms of Use](#)
[Legal Disclosure](#)
[Copyright](#)
[Trademark](#)

<https://www.sap.com/dmc/exp/2014-09-02-hana-hardware/enEN/#/solutions?filters=storage;ve:13>

NetApp ASA Series

各ポイントを漏れなくカバーし、ONTAPならではの特色を持つ



ONTAP搭載のSAN専用ストレージ

2万社を超えるお客様 における
SANワークロードでの採用
信頼と実績の NetApp SAN

• モダン

- オール NVMe x Persistent Port による 高性能・ビジネス継続性
- 包括的なデータ サービス 且つ クラウドとシームレスに連携

• セキュリティと保護

- ランサムウェア攻撃からの迅速なリカバリを実現
- サイト全体でビジネス継続性を実現し、障害からデータを保護

• サステナビリティ

- 他社のオールフラッシュと比較し、CO2排出量を最大70%抑制

• 各種プログラム

- 99.9999%のデータ可用性を保証
- 標準で4:1のストレージ容量削減を保証
- (Coming Soon...) ランサムウェアからのリカバリ保証

• サステナビリティ

- 他社のオールフラッシュと比較し、CO2排出量を最大70%抑制

VMware環境・データベース環境に最適化された
最新の オールフラッシュ SAN ストレージ

**C シリーズがラインアップに追加され、
更に突出したコストパフォーマンス、製品競争力を獲得**

ASAシリーズのポジショニング

FAS	AFF Cシリーズ	AFF Aシリーズ	ASA Aシリーズ	NEW ASA Cシリーズ
				
ハイブリッドフラッシュストレージ	大容量オールフラッシュストレージ	パフォーマンスオールフラッシュストレージ	オールフラッシュSANストレージ	大容量SANオールフラッシュストレージ
ユニファイド (file, block, object)	ユニファイド (file, block, object)	ユニファイド (file, block, object)	Blockに最適化	Blockに最適化
低価格	バランスの取れた価格	最上位価格	魅力的な価格	大容量かつ低価格
Tier 2ワークロード	Tier1, Tier 2 ワークロード	Tier0, Tier1ワークロード	Tire 1 のBlockワークロード	Tire 1 -2のBlockワークロード
5-10msレイテンシー	2-4msレイテンシー	1ms以下	99.9999%可用性保障	99.9999%可用性保障
バックアップ / ディザスタリカバリ	FASのリプレース、VMWareデータストア	ビジネス・ミッションクリティカル	ビジネス・ミッションクリティカル (ブロック)	バックアップ、アーカイブなど (ブロック)

ONTAP One

データ管理ソフトウェア : ファイル、ブロック、オブジェクトなどネットアップのポートフォリオ全体にわたって自動化、効率化、データ保護、セキュリティの機能を提供



IBM Cloud



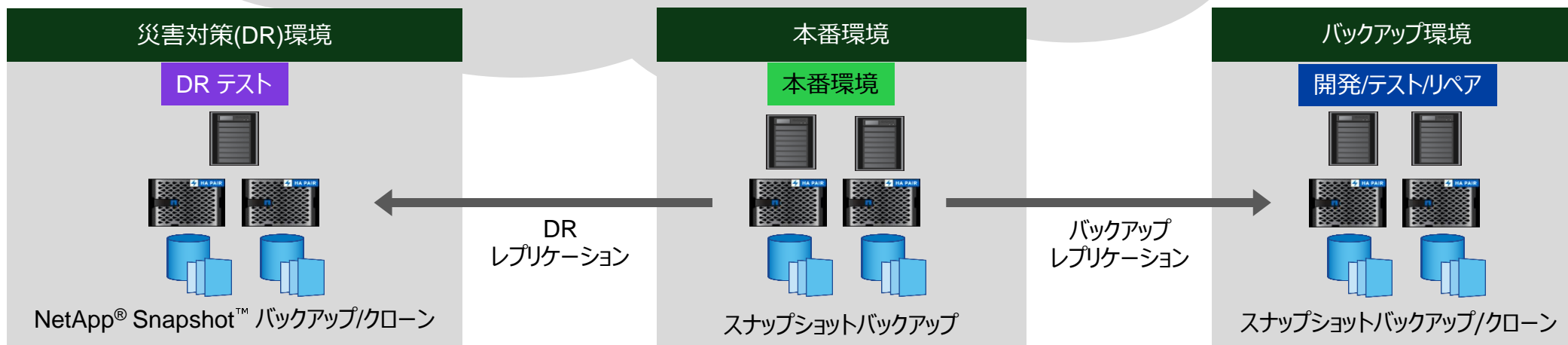
ハイブリッドクラウドの運用

運用面を犠牲にすることなく
クラウドリソースを活用するには
どうすればよいか？

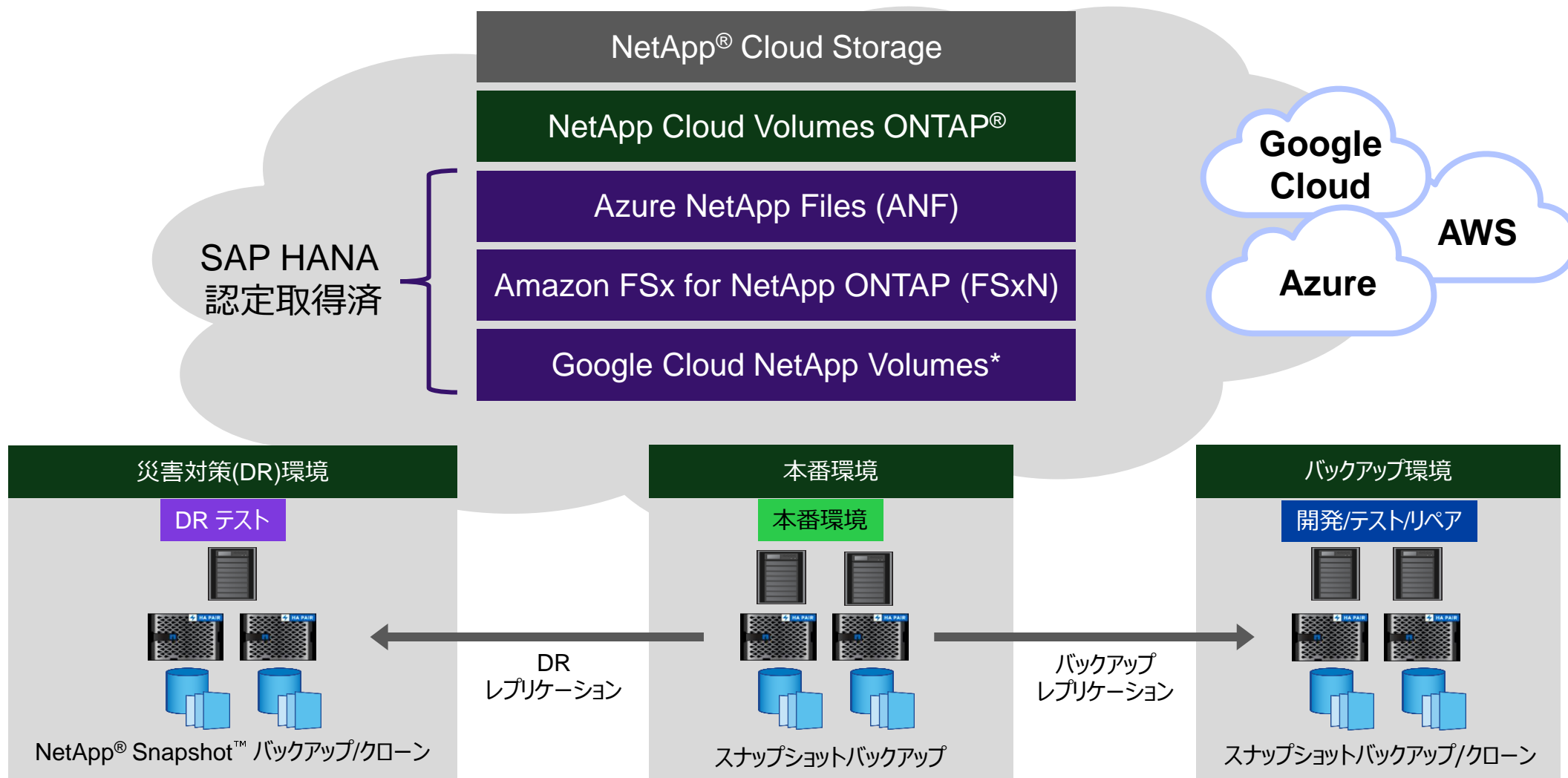
Google
Cloud

AWS

Azure

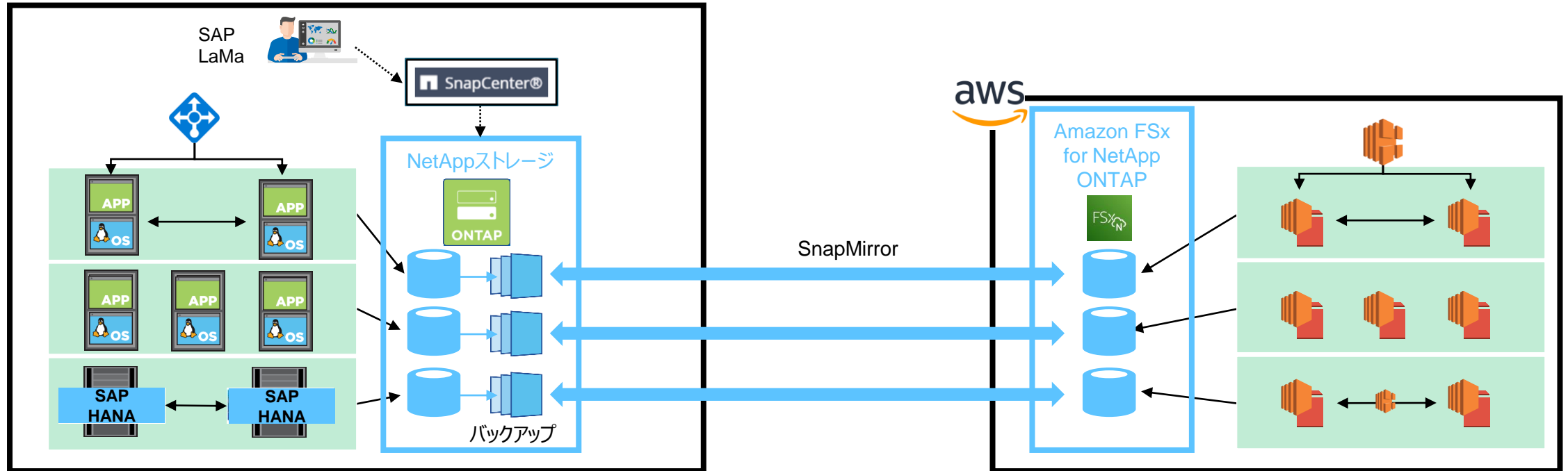


NetAppのクラウドストレージ



SAP HANA環境の移行

例) オンプレミス → Amazon FSx for NetApp ONTAP (双方NetAppソリューションを利用した環境)の移行



高速性：移行のための業務影響を可能な限り最小化

- ✓ 伝送用のバックアップはNetAppストレージのスナップショット機能で一瞬で作成
- ✓ SnapMirrorによるデータコピー

運用リスクの低減：できる限り同一のインフラ構成、データ領域の運用方式とパフォーマンス

- ✓ 関連するデータ領域の構成を統一、シンプルな構成を継承
- ✓ LaMa – SnapCenter API連携により移行作業をシンプルに実現

*データコピー後に各環境固有のパラメータ（IPアドレス等）修正は必要です

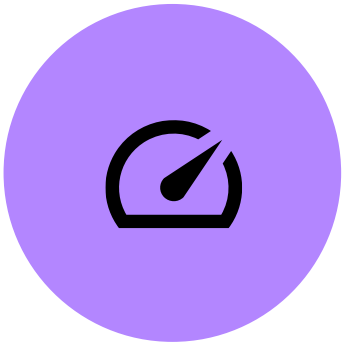
SAPの導入/運用フェーズを高速化：SAPシステムを高速に提供



自動化機能で、SAPプロジェクトの導入/運用を高速化

→ブログ記事「[Amazon FSx for NetApp ONTAP ボリュームを使用してAWS Launch WizardでSAPをデプロイしてみた](#)」もご参照ください

→SnapCenterでSAPシステムコピーの高速化/自動化を実現



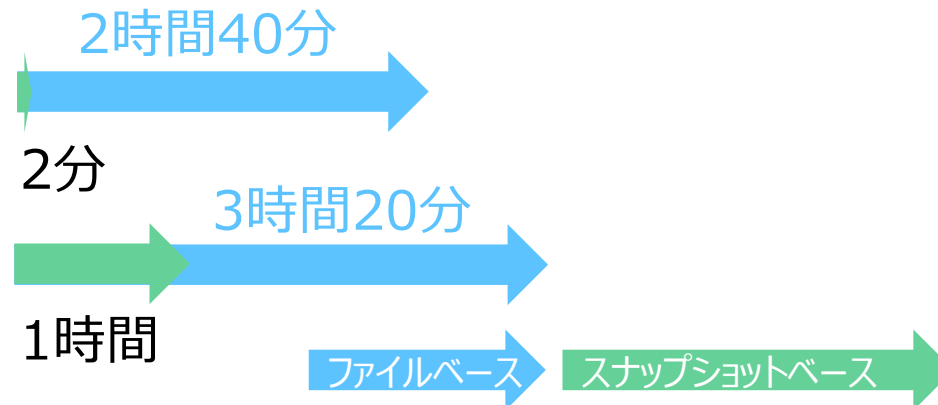
システムのプロビジョニングとプロトタイプ作成にかかる時間を数日から数分に短縮

バックアップ

99% 削減

SAPシステムリフレッシュ

70% 削減

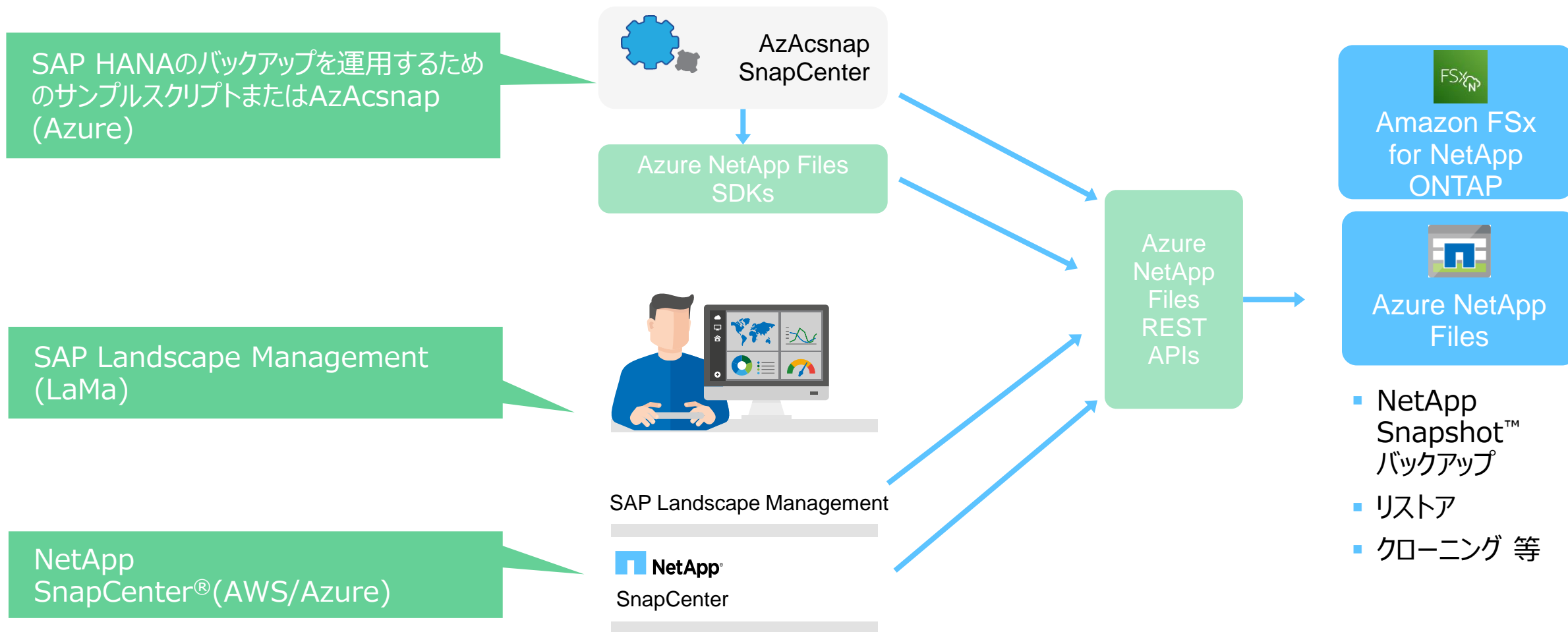


(容量2.3TBのHANAデータベースの場合の数値)

NetAppサービスによるシステムコピー/バックアップの高速化と自動化

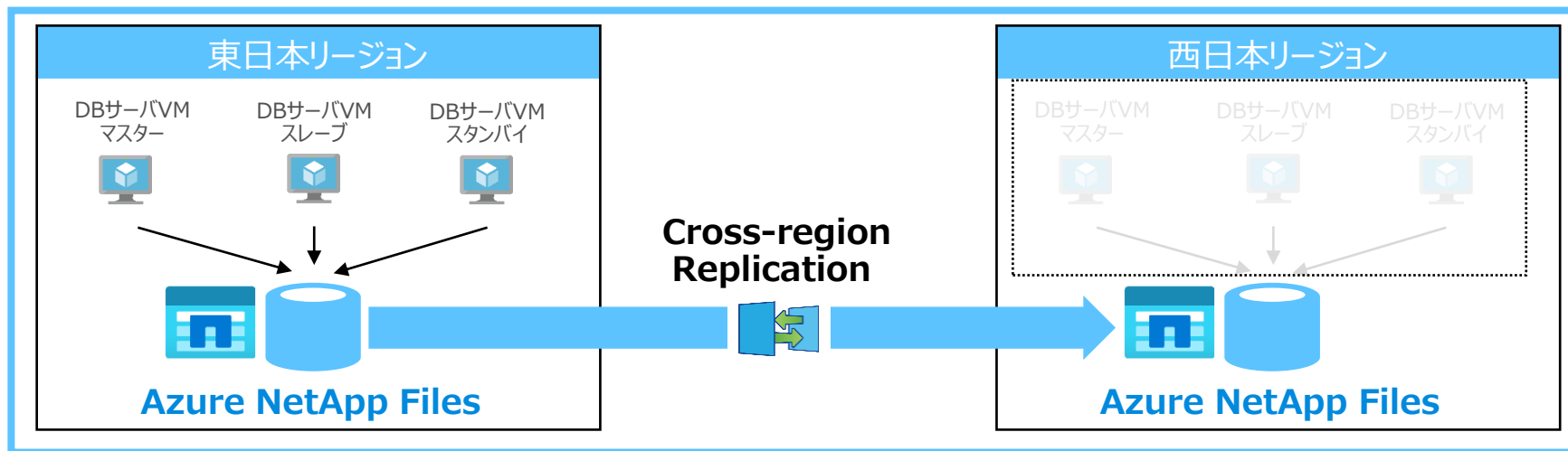
データベースの整合性を担保するスナップショット連携ツール：**AzAcSnap / SnapCenter**

AzAcSnap/SnapCenterと各コンポーネントのAPIの連携で実現するワークフロー自動化



- NetApp Snapshot™ バックアップ
- リストア
- クローニング 等

バックアップ/DRの運用を簡易化：簡易化されたデータ保護



統合型のバックアップとディザスタリカバリ

- 通常運用時、DR(コピー)先のVMの常時起動が不要
- DB部分だけではなく、アプリケーションサーバ等のデータ部分も一括して伝送
- コピー先のボリュームを更に複製し、検証等の用途で活用することも可能

SAP HANA システムレプリケーションとNetAppソリューションによるDRの比較

	Azure NetApp Files Cross Region Replication	SAP HANA システムレプリケーション	
実装方式	非同期型 ストレージベース データ転送	同期型データ伝送、 事前にメモリへロード	非同期データ伝送、 事前メモリロードなし
平常時DR側サーバリソース	不要	必要	必要
RPO	RPO > 15min	RPO=0	RPO > 15min
RTO	データベースの起動時間に依存	非常に短い (~1min)	データベースの起動時間に依存
DRサイトのサーバが開発/テスト目的で利用可能	Yes	No	Yes
データベース以外のデータの保護	Yes	No	No
コスト	\$	\$\$\$	\$\$

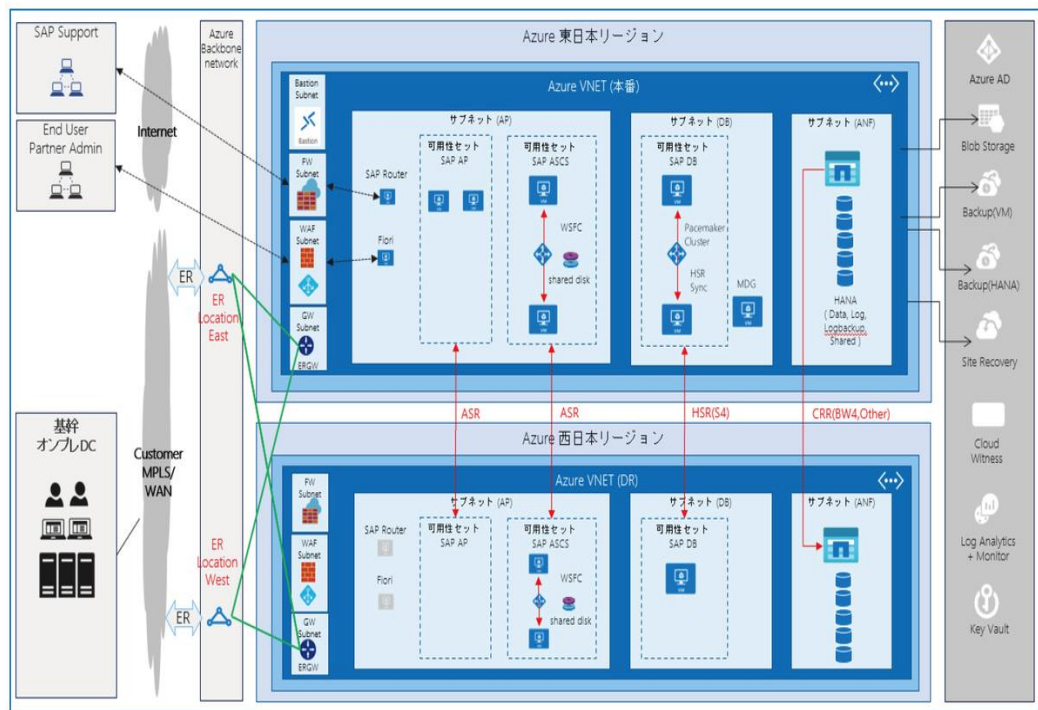


花王

SAPでANFを全面採用した日本初の大規模事例

ANF導入のメリット

- Linux仮想マシンでNFSストレージサーバーを構築する場合に比べ圧倒的に可用性が高く、データベースを保存するストレージの運用コストが軽減
- DR サイトへのデータの同期も簡単に実施できるようになり、事業継続性が飛躍的に向上
- System Refreshの作業ステップのなかでボリュームスナップショットからの瞬時的なクローン機能（NetAppのFlexClone機能に相当）を利用し、既存の運用で長時間化していた DB Backupのサーバー間移動の時間を大幅に短縮



システム概要図

<https://customers.microsoft.com/EN-US/story/1599607162586489459-kao-consumer-goods-azure-ja-japan>




Adidas



欧州におけるSAP on FSxN導入事例

FSxN導入のメリット (AWS re:Invent 2023の発表より抜粋)

- バックアップ/リストアを75分以内に収めるというSLAに対し、12TBの場合EBSではSLAを満たさず、FSxNを採用することでSLAを満たすことが判明
- 2023年末時点のSAP HANAのデータ容量は7.5TB程度であるが、2024年以降は18~24TBまで増大すると想定される
- さらに2025年以降はスケールアウト構成へ移行する可能性もあるため、性能と拡張性に優れたFSxNを採用

How to recover a heart?



	Availability SLA	99.9%	DB Size	Restore/recovery	Load	SLA	FSX
High availability	Recovery point objective	0, Last committed transaction	6 TB	20 minutes	15 minutes	Yes 35 minutes	Yes 25 minutes
	Recovery point objective	43 minutes	9 TB	30 minutes	30 minutes	Yes 65 minutes	Yes 40 minutes
	Recovery point objective	0, Last committed transaction	12 TB	40 minutes	45 minutes	No 85 minutes	Yes 55 minutes
Disaster recovery	Recovery point objective	0, Last committed transaction	We restart the DB and app servers in less than 25 minutes		FSx ONTAP for SAP Landscape 0,65PB right now!		 
	Recovery point objective	4 hours					
	Backup restore time	75 minutes					

aws © 2023 Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved. aws

https://www.youtube.com/watch?v=q8F10xB_4gY

Oracle環境における ONTAPの導入メリット

Oracle環境におけるONTAPの導入メリット



運用の高速化/簡易化

TCOの削減

**常時稼働の
可用性**

運用の高速化/簡易化

ピーク時の需要に対応、一貫したカスタマー エクスペリエンスを提供



アプリケーションとデータベースのデータコピーを高速化、効率化し、**プロジェクトをスピードアップして運用開始までの時間を最大30%短縮** (Ducati)



最小限の作業で新しい環境を数分でプロビジョニング可能。新たなサービスをより早く導入し、迅速にテストを実施してバグを修正し、仕事に必要なリソースを全員に提供することが可能

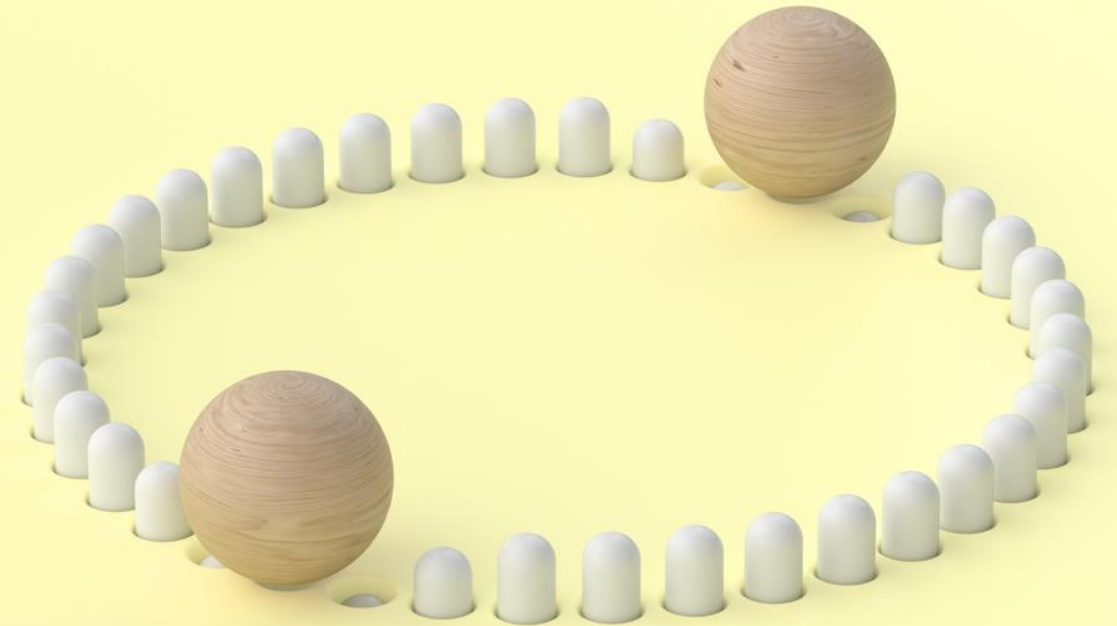


業界初の真のエンドツーエンドNVMeで、**NVMeのパフォーマンスをフル活用**



Oracle環境におけるFlexCloneのメリット

- 多くのデータベース管理者がデータベースのクローニング処理の管理に多くの時間を費やしている
- 現在の状態からデータベースを瞬時にクローニングしたり、以前に作成したSnapshotからクローニングすることが可能
- FlexCloneはスペース効率に優れている
- クローニング処理をさまざまな方法で自動化できる
- **ONTAP®のお客様は、1PBに迫る単一のデータベースのクローンを作成**
- **ONTAPのお客様は、同じデータベースのクローンを100個以上所有**
 - 100:1のスペース効率で、管理オーバーヘッドを大幅に削減

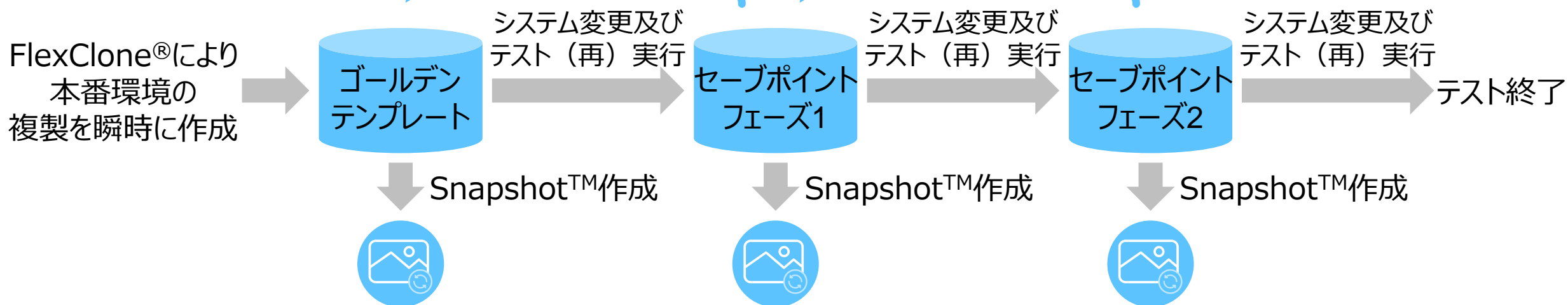


FlexCloneを用いたテストサイクルの加速

NetAppのボリューム複製技術「FlexClone」により、瞬時の環境複製・巻き戻しが可能になり、本番環境への性能影響を与えずに、テストサイクルを高速化できます。

FlexClone®を利用したテストサイクルの高速化イメージ

必要に応じて任意のセーブポイントに巻き戻し（数分）



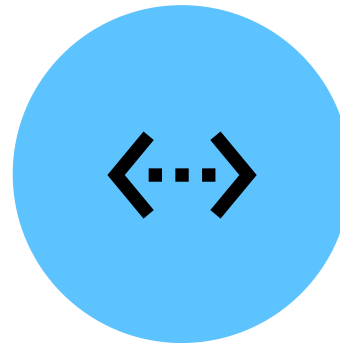
TCOの削減

Oracleへの投資を最大限に活用する



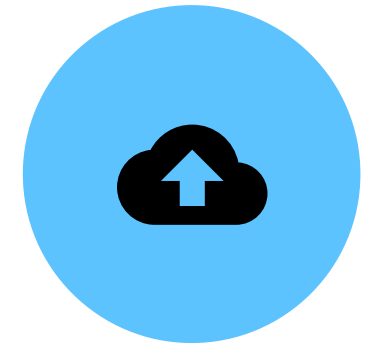
効率性

複数のStorage Efficiencyテクノロジーにより、**省スペースでより多くのデータを配置可能**



業界をリードするクラウド統合

オンプレミス、ハイブリッドクラウド、マルチクラウドの各種環境とクラウドとの間で、ワークロードを簡単に移動可能



あらゆる環境でデータを保護

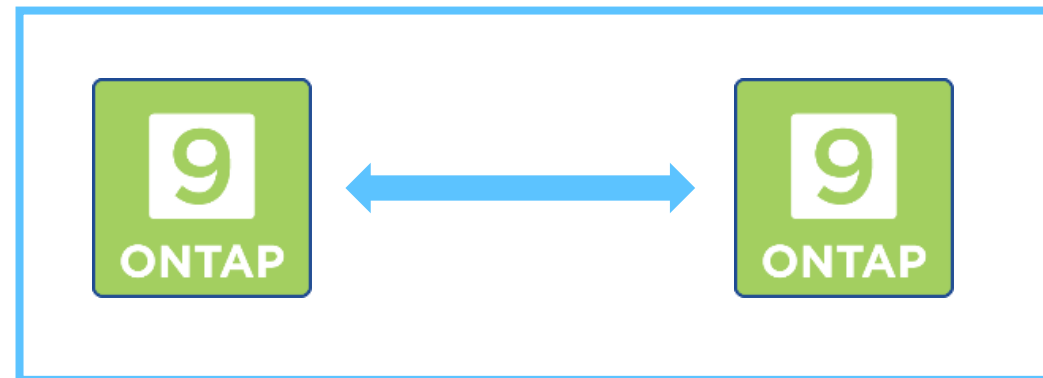
統合データプロテクションにより、エッジ、コア、クラウドにわたり、あらゆる保存場所や移動先でデータを保護。また、クラウドへのレプリケーションによって**オンデマンドのディザスタリカバリ環境を構築可能**

Oracleデータベースにおけるハイブリッドクラウドの活用

拡張

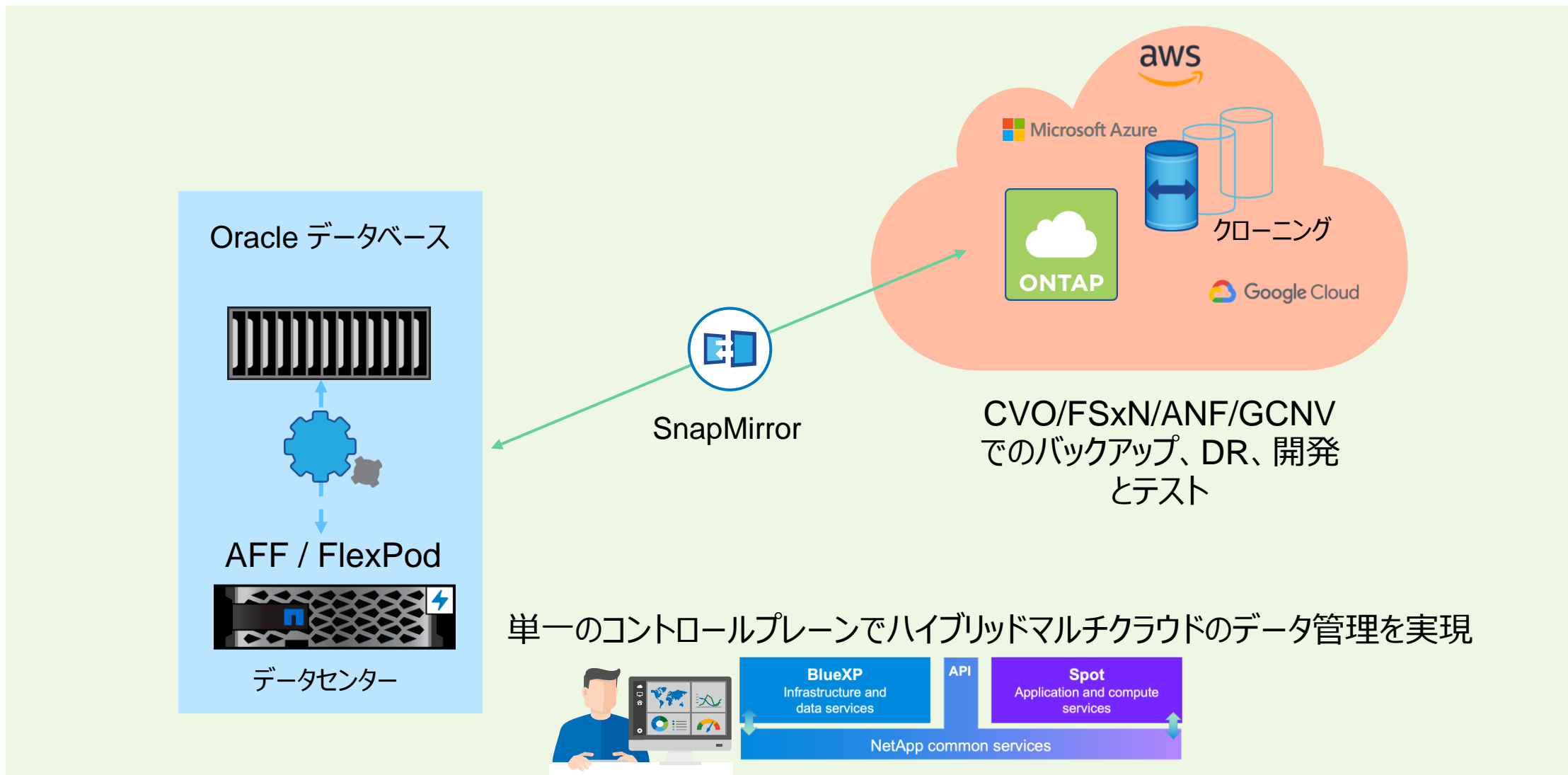
オンプレミス → クラウド

- 開発およびテスト
- レガシー環境の階層化
- クラウドへのDR



Oracleデータベースのディザスタリカバリ構成によりシステムの可用性を高めたユースケース

高度なデータ管理によるデータベース管理の一元化

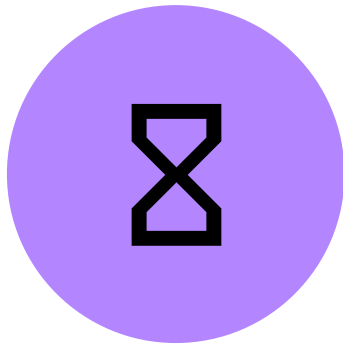


NetAppの高可用性ソリューションとOracle Data Guardの比較

	NetAppの高可用性ソリューション	Oracle Data Guard
保護範囲	○ データベース以外の周辺の業務システムやファイルサーバも保護可能	△ データベースのみ
圧縮/重複排除	○ ストレージ側へオフロード可能 非同期SnapMirrorでは圧縮/重複排除を保持したまま転送可能	△ サーバ側のリソースを使用
同期/非同期	○ 使用するソリューションにより選択可能	○ 選択可能
コスト	○ Data GuardなしでDRを実現可能 Standard EditionでDRを実現可能 DR待機側VMの常時起動は不要	△ Enterprise Editionが必要 セカンダリ側での書き込み等には別途ライセンスが必要

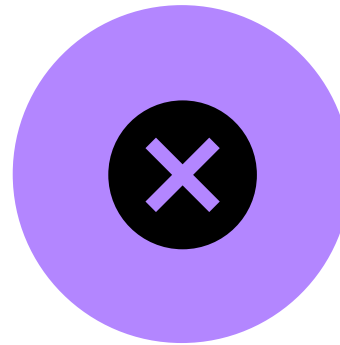
常時稼働の可用性

24時間365日ビジネスを継続



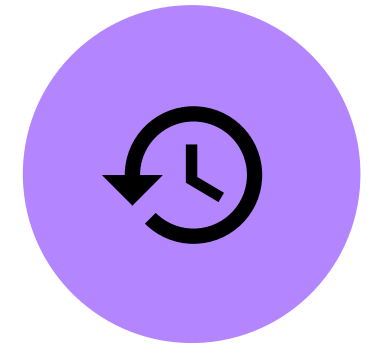
計画外停止を最小限に

99.9999%の可用性が実証されているため、ノンストップオペレーションによりダウンタイムのない環境を実現



将来のニーズに対応

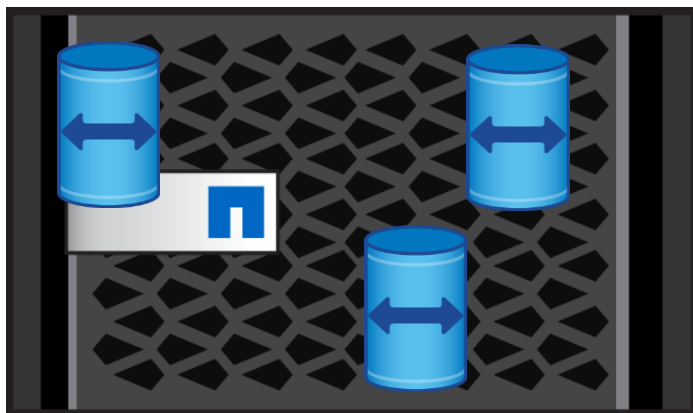
オンプレミスとクラウドとの間で、ほぼ無制限のスケーラビリティとシームレスでコスト効率に優れたデータ移動を実現。**システム停止を伴わず、NVMeやAIなどの新しいテクノロジーを追加可能**



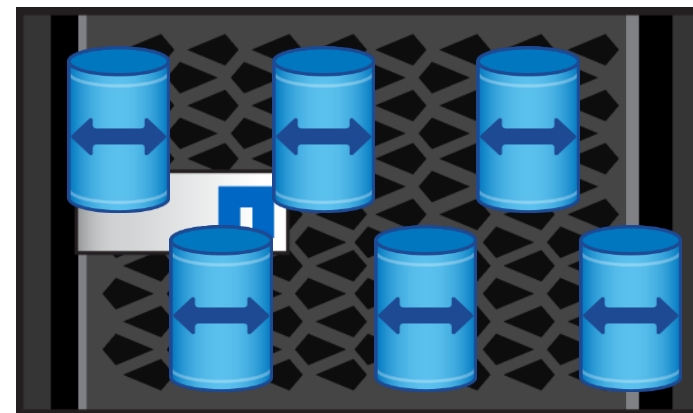
数秒でバックアップ、数秒でリストア

NetAppソリューションは、ペタバイト規模のデータベースであっても**数秒でバックアップとリストアを実行**でき、問題発生時にビジネスを再開可能

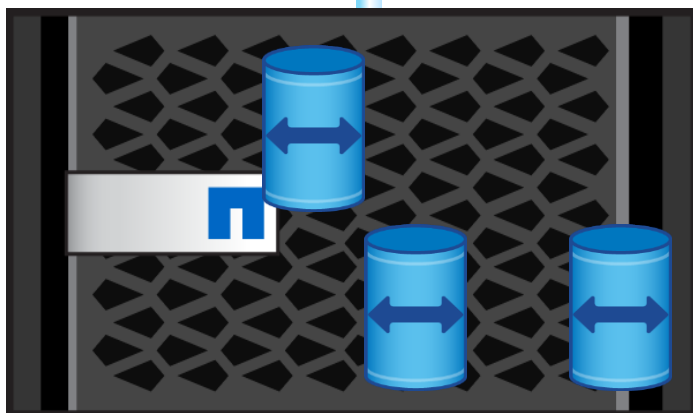
無停止でのアプリケーション移行



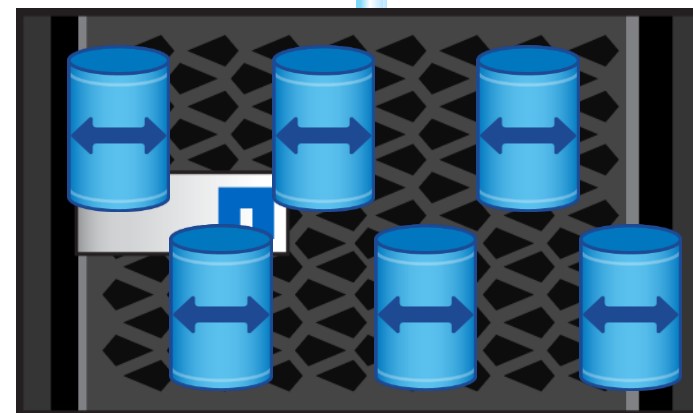
NetApp® AFF A800



AFF AXXX

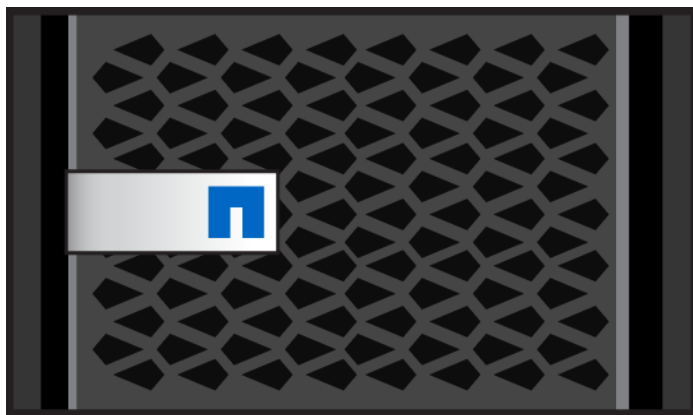


NetApp® AFF A800

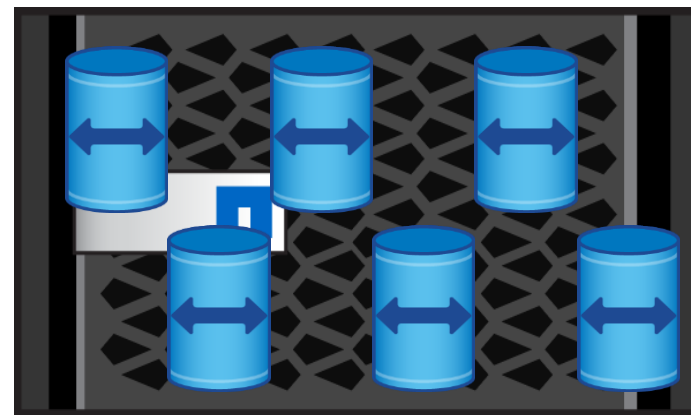


AFF AXXX

運用への影響を与えずにストレージの運用を停止



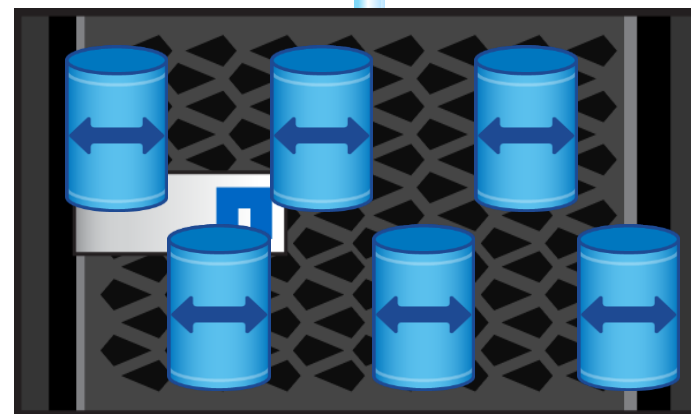
NetApp® AFF A800



AFF AXXX



NetApp® AFF A800



AFF AXXX

大手銀行がOracleを Azure NetApp Filesに移行し、安定したセキュアなサービスと効率性の向上を実現

課題

オランダの銀行ABN AMROは、規模と効率性を高めるために、取引と財務、リスクプラットフォームMurex MX.3をオンプレミスからクラウドに移行する必要があった

ソリューション

同行は、Oracle Exadataを Azure NetApp Files上のOracleデータベースに移行した。同行は、柔軟性、拡張性、市場投入までの時間を短縮したと発表している。この移行により、ABN AMROはより安定した安全なサービスを提供し、同時に効率性も向上している。これにより、システム全体がAzureクラウドで運用可能になり、以下のような成果が得られた。

- 当初の設計の90%近くを維持したままAzureへ移行
- インフラ、アプリケーション、ミドルウェアの導入を自動化することで、柔軟性、即応性、製品化サイクルが向上した。チームの報告では、全く新しい環境を半日で導入することが可能となった



「銀行は厳しく規制された機関であり、私たちは多くの重要な規制要件を持っています。

さらに、**Oracle Exadataから Azure NetApp Files上のOracleデータベースへの移行時と完了時の両方に安心できる、セキュリティとパフォーマンスの高いクレデンシャルを備えた環境が必要でした。**

そのようなフレームワークでは、Azureが論理的な選択肢でした。」

Thomas Wold Johansen
Chief Technology Officer

KEY TAKENAWAYS

01

SAPではオンプレミス/
クラウドを問わず、デー
タの利活用が可能

02

SAPの導入/運用フェ
ーズを高速化

03

SAPバックアップ/DRの
運用を簡易化

04

Oracle環境における運用
の高速化/簡易化

05

Oracle環境における
TCOの削減

06

Oracle環境における
常時稼働の可用性

NetApp Tech Community ONLINE Vol.46

ランサムウェア被害から復旧する準備はできていますか？ファイルサーバ：NetApp ONTAPとクラウドサービス連携でできるデータ回復力

セキュリティ攻撃が多様化しあらゆる手段で企業のデータを狙っています。「サイバーレジリエンス」というセキュリティ用語をご存知でしょうか、これは「攻撃に耐える能力と、そこから回復する能力」を指しています。

本セッションでは、NetApp ONTAPとクラウドサービスである「Cloud Insights Storage Workload Security」と連携して実現する、「サイバーレジリエンス」をご紹介します。特に「レジリエンス(回復力)」に焦点を当てて、実例をもとに被害からの復旧方法についてお伝えします。

スピーカー：
ネットアップ合同会社
ソリューション技術本部
SE第3部
Specialist SE

松田 紘典



2024年2月20日（火）

16:00～16:45



ご登録：bit.ly/NTCOvol46

申込：事前登録制・無料

対象：クラウド、ITインフラ、DXに関わる企業のお客様、パートナー様

NetApp Tech Community ONLINE Webサイト

次回セッションへの申し込み、過去開催セッションの視聴が可能



NetApp Tech Community ONLINEサイト

<https://contents-portal.jp/event/ntco/>

- 過去開催分のビデオ視聴、資料のダウンロードが可能
- 次回開催分の申し込みが可能

<過去開催テーマ一例>

毎月開催しています！！

Vol.37	設計・構築者必見！ Amazon FSx for NetApp ONTAPのノウハウ第2弾を1.5時間のロングバージョンで紹介します
Vol.38	家計と同じようにクラウドコストを見直す？ クラウドリソース可視化とコスト削減を実現するNetApp Cloud Insights
Vol.39	NetAppの大容量で低コストの最新オールフラッシュストレージのご紹介とフラッシュの最新技術トレンド
Vol.40	SaaSベースでお手軽導入！ でもネットワーク要件の厳しいオンプレにも対応！ NetAppのクラウドバックアップサービスでオンプレ・クラウドのONTAPに格納されたデータを万全に保護しましょう！
Vol.41	多様化し続けるランサムウェアもなんのその！ SB C&Sがディストリビューターとして語る他社ベンダーにないランサムウェア対策におけるネットアップの強みとは！？
Vol.42	NetApp製品をご利用中の皆様、超必見！！ ONTAP使用歴20年以上のユーザーが語る、NetApp製品の活用術ならびに今後のビジョンについて
Vol.43	ONTAP OSを搭載した製品ラインアップはAFF/FASシリーズだけでなく！ SAN専用オールフラッシュストレージであるNetApp ASAシリーズの特徴と、最新の関連プログラムをご紹介します！
Vol.44	大事なデータの置き場所、クラウドにしますか？ オンプレにしますか？ 海外拠点はどうしますか？ それ、いま決める必要はありません。ストレージのキャッシュ技術(FlexCache)でデータの置き場所の悩みを解決する方法を解説します。

ストレージチャンネル powered by NetApp
企業データ管理のための総合情報ポータル (クラウド) (オンプレ) (ハイブリッド) (データ管理)

NetApp Tech Community ONLINEサイト

NetApp Tech Community ONLINEとは？

DXの推進が加速する中、データ活用のニーズが益々高まっています。私たちNetApp SEチームは、お客様のデータ管理における課題やニーズへの解決策をお届けしたく、毎月テーマを変えてオンラインセミナーを開催します。是非お気軽にご参加ください！

NetApp Tech Community ONLINE Vol.05

「事例から知る、はじめてのNetApp HCI」

概要

昨今「HCI」というと実にいろいろな製品がリリースされており、導入されるお客様もますます増えてきています。でも、HCIはどれも同じ、と思っていないですか？ NetApp HCIは全く新しい思想から生まれた製品です。

本セッションでは、NetApp HCIの特徴を、実際のお客様の事例を交えながら詳しくご紹介していきます。今回は、安定の(?)「こだわり派 SE」ユウキと、「悩み多き営業」ユミのYYコンビが登場し鋭く切り込みます！

開催日時

2019年11月27日(水)

資料DL

ビデオ (アーカイブ)

申し込みはこちら

製造現場におけるAI活用のリアル 工場データをどう活用し、どう展開させていくべきか

製造現場でAI活用への期待が高まっています。人手不足が深刻化する中、多くの製造現場で人手作業を自動化する必要性が生じています。その中で、自動化装置の導入などと合わせて重要な役割を果たすのが人の判断を代替するAIです。ただ、従来はデジタル技術に縁遠かった製造現場でAI活用を使いこなすのは簡単なことではありません。製造現場でAIやデータ活用を進めていくポイントにはどういったことがあるのでしょうか。

そこで本セミナーでは、製造業としての一面を持ちながら製造現場向けAIシステムを展開するMusashi AI様に製造現場のAI活用の現状についてお話をいただき、さらに、クラウドプラットフォームを展開するAWS、データ活用の専門家であるNetAppとともにパネルディスカッションの形で掘り下げていきます。皆様に、さらに新しい気付きを得ていただける内容をご準備しております。Webinar形式で実施しますので、ご多忙中のことと存じますが、是非ともご参加いただけますと幸いです。

アジェンダ

ゲストセッション『製造現場のAI活用の現在地とデータ活用～Musashi AIの取り組みから～』 MUSASHI AI株式会社 代表取締役 村田 宗太 氏

85年の歴史を持つ老舗の自動車部品メーカーである武蔵精密工業から生まれたMusashi AIは、製造現場向けのAI外観検査装置などAI関連ソリューションを展開する企業です。親会社である武蔵精密工業の製造現場での活用成果を生かしつつ、製造現場でのAI活用やデータ活用についてのノウハウを蓄積し、数多くの自動車メーカーにAI外観検査装置を導入しています。こうした経験を踏まえ、製造現場でのAI活用の現在地について紹介させていただきます。

パネルディスカッション

パネリスト

MUSASHI AI株式会社様
代表取締役 村田 宗太 氏
アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
自動車・製造事業開発本部 インダストリースペシャリストソリューションアーキテクト 山本 直志 氏
ネットアップ合同会社
ソリューション技術本部 SE第3部 部長中川 拓也

モデレーター

アイティメディア株式会社 MONOist編集部 編集長

MUSASHI AI

村田様には、経営者目線でありながら現場目線も踏まえて、現在の製造業でのAIについての所感や課題などをお話しいただきます。

Musashi AI 株式会社 村田 宗太 氏

工機事業部の技術者として、2006年8月に武蔵精密工業へ入社。これまで手動で行われていた製造現場の作業を自動化させるため、技術者としてプログラミング業務などに従事。2015年に工機事業部のチーフへ昇格。2018年にAI Projectのリーダーに任命された後、2019年にMusashi AIの代表取締役に就任。



[Musashi AI様会社案内](#)

[AI外観検査機 導入事例\(トヨタ自動車様\)](#)

2024年1月31日(火)
15時~16時15分 終了予定

Webinar形式

事前申込-参加費無料

<https://bit.ly/131-AI>



主催 ネットアップ合同会社
ゲスト Musashi AI株式会社
アマゾンウェブサービスジャパン合同会社

対象
製造業界のIT部門やDX推進の担当者
製造業界を担当しているパートナー など

*競合や個人でのお申し込みの方はお断りする場合がありますのでご了承ください。

問い合わせ ng-japan-mktg-event@netapp.com

NetApp

アンケートご協力をお願い

- Webinarを終了するとアンケートが表示されます
- セッションに関するフィードバック、ご意見をいただきたく、是非ご協力のほどお願いいたします

アンケートの回答で
抽選プレゼント



NetApp Tech Community ONLINE Vol.01 アンケート

貴重なご意見をいただきたく、以下のアンケートへのご協力をお願いいたします。

(個人情報の取り扱いについて)

ご記入いただきました個人情報は、本セミナーに関するご連絡やネットアップ株式会社からのご案内（イベント・セミナー・キャンペーン・ニュースレター・製品・サービス情報の紹介）に活用させていただきます。各社のプライバシーポリシーに関してはサイトをご覧ください。

ネットアップ株式会社：<http://www.netapp.com/jp/legal/privacypolicy.aspx>

* Required

1. 会社名 *

Enter your answer

2. お名前 *

Enter your answer

Thank you

